

ながの門前 まちあるき

4/23水
10:30~12:30

門前で暮らす人、働く人、
楽しんでいる人にまちを
案内してもらいます。

vol. 226 ごきげんよう、権堂。

権堂アーケードという名のタイム
トンネルをくぐり、愛くるしくも時代
に迎合しないグラフィックデザインを
巡ります。グラフィック入門のワーク
もします。



小島有 こじま ゆう
グラフィックデザイナー

小布施町在住。Web制作会社、デザインプロダク
ションを経て独立。デザインスタジオYOUと本屋
KIBIを運営。まつもと市民芸術館広報紙『Catwalk
／ねこあるき』にて猫にまつわる4コマ漫画"それ
でも、猫が好き。"を連載中。

参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所 (R-DEPOT内)
参加費：ながの門前まちあるき 1,000円 (U22 無料)
空き家見学会相談会 500円 (U22 無料)
定員：10名 ※要申込
申込み：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com
(月曜休)

空き家 見学会 & 相談会

4/12土
見学 14:00~15:30
相談 15:30+

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介
もします。見学会の後、空き家
を活用してやりたいことについて
個別でお話しをします。

1 相生座
字は体を表す。美しい
タイポグラフィ。

2 トヨキ 薬局
カタカナ表記って
めっちゃアーバン。

3 台東食品 権堂店
やんちゃな
キャラが
愛おしい。

4 台東食品 権堂店
クラシックなポップを
確認できる。

須藤 悠 すどう ゆう
R-DEPOT スタッフ
大学生の時に空き家を借りて、改修し
ながら住んでいた経験から空き家の廣
に。まちの空き家や古道具を引き継ぐ
R-DRPOT に入り、日頃から善光寺周辺に
ある空き家の情報収集に力を入れている。

空き家
こぼれ話

key item!
Slipper

窓口開設中!
R-DEPOT



こうなるといい
話しに来てみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・お店をはじめたい
- ・家財を引継ぎたい
- ・場所がほしい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00 (月曜休)

問：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
(2015年~)

[主催]長野市中心市街地活性化協議会
[問合せ]事務局 駒まちづくり長野
(電話 026-267-5323)

[プロジェクト]

◎西鶴賀町エリアリノベーション (2020年~)
拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

◎石堂町エリアリノベーション (2022年~)
拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

◎まち暮らしたてもの案内所 (2024年~)
拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所

まち暮らし たてもの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです



第16回
4/11 金
16:00・17:00

① 最近の空き家見学会の参加者

② 新しい仕事ってどう見つけるか

③ 最近見つけたカッコいい空き家

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

① 県立大学の朝ごはん会

② 岩石町長屋の活用

③ 秋葉荘の活用

第17回
4/25 金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料



議題

移住のステップについて

第12回

2/14

参加者：11名

移住について盛り上がった会。移住者には向階段かSTEPがある。STEP1は移住にちょっと興味があり、色々と調べ始めた。STEP2では、移住先をだいたい決めて、下見に来る人。STEP3は移住先の仕事と決め、不動産屋さんと住む場所を決めている。STEP4は移住先お試し移住はSTEP2の人をターゲットに、1週間〜1ヶ月くらい住んでもらうというプロジェクト。その期間でど様な移住のことや地域の人と接点を作る事が出来るか大事。行政と民間、長所を活かして、移住について取組むたい。

議題

観光と宿泊について

第13回

2/28

参加者：8名

民泊・一棟貸し・観光について色々と話した会。最近、門前周辺はインバウンドの方も非常に増えた。そのに伴い、ゲストハウス・民泊・一棟貸し宿がここ1年でかなり増えてきた。空き家見学会の相談者も宿泊系が少し多い。様々な人が行き交い、宿が増える事は嬉しいことだけど、逆に宿が増えすぎると、コロナの様な課題に直面してインバウンドの方が一気に来なくなれば大変な事が起こる。観光の方向性やデザインを考えることも、私としては大事な話だと思ふ。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2025

4月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

